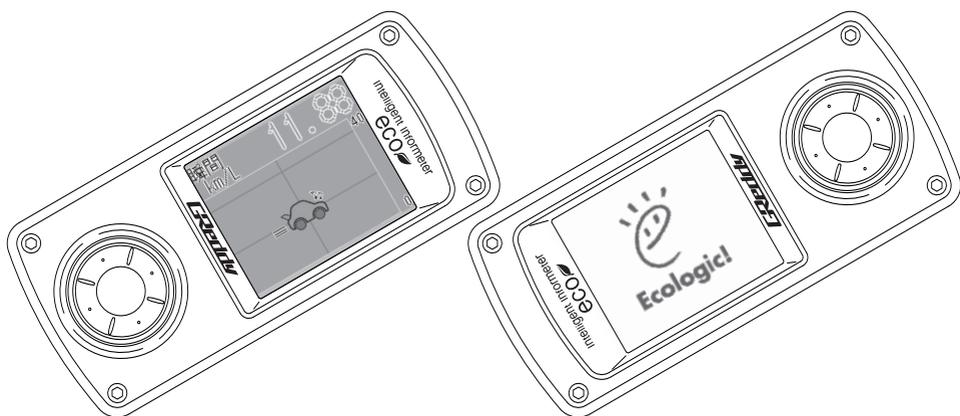


*Greddy*

# Intelligent Informeter

eco 

## 取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、理解された上で正しくお使い下さい。

## はじめに

この度は、グレッディ・インテリジェントインフォメーターecoをお買上げくださりまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、インテリジェントインフォメーターecoを初めてお使い頂く方はもちろん、すでに、お使いになられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再認識する上でお役に立つものと考えております。

この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にお使い下さいますようお願い申し上げます。

また、この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように車内に保管されることをお勧め致します。

### ◆お客様と製品とのかかわり合い◆ **必ずお読み下さい**

車とその取り扱い方法は、各自動車メーカーの、お客様に対しての安全と快適な生活に関する、不断の研究開発の結果として生み出されたものです。

弊社の製品は、このような車に、更なる性能や利便性を付加することが出来ると考えております。

弊社もまた、お客様に製品を安全にかつ快適にお使い頂くために、不断的努力をしておりますが、製品の持つ特性上、その性能や利便性と引き替えに、自動車メーカーの提供する安全が、確保出来なくなる場合があります。そのような場合に必要な、安全に対する配慮と判断は、すべてお客様ご自信の責任でお考え頂かななくてはなりません。

お客様の車と弊社の製品を、安全にかつ快適にお使い頂くためにも、製品を取り付ける車の取扱説明書を合わせて、よくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

## もくじ

はじめに	P 1
お客様と製品とのかかわり合い	P 1
もくじ	P 2
安全・取扱いに関するご注意	P 3~6
部品構成	P 7
本製品の特徴	P 8
取付け方法	P 9~11
各部の名称	P 12
簡易階層図	P 13~14
操作の前に	P 15
メーカー設定の前に	P 16
メーカー設定	P 17
モニタリング	P 18~25
モニタリング項目	P 18
スクロールグラフの場合	P 19~20
キャラクターモードの場合	P 21~22
2レンメーターの場合	P 23
3レンメーターの場合	P 24
6レンメーターの場合	P 25
補正について	P 26~28
キホンセッテイ	P 29~32
カンシセッテイ	P 32~34
採点モードの場合	P 34
シヨキカ	P 35
着せ替えシートの交換方法	P 36

製品を安全にお使い頂くには、正しい取り付けと正しい操作が不可欠です。

この取扱説明書、ならびに、取り付ける車両の取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

又、この取扱説明書に書かれていない取り扱いをされる場合に必要な、安全に対する配慮は、お客様ご自分の責任でお考え頂くことになります。

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂くために、守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。



もし、お守り頂かないと、生命の危機、または重傷を負う人身事故につながる恐れのある注意事項です。



もし、お守り頂かないと、製品だけでなく自動車や設備の破損・故障につながる恐れのある注意事項です。

**お願い**

製品を正しくお使い頂くために、必ず守って頂きたい注意事項です。

**重要**

製品を正しくお使い頂くために、知っておいて頂きたい注意事項です。

 警 告

- ・取付け車両を扱う場合は、取付け車両付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理して下さい。自動車は、誤った扱い方をすると、思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。
- ・必ず自動車の下に燃えやすい物がないことを確認してから、停車、駐車して下さい。自動車の排気部分は高温になり、エンジンを動かしたまま枯れ草などの燃えやすい物の上に停車や駐車すると、火災の危険があります。
- ・必要な時以外は、必ずエンジンを停止して下さい。マフラーのテールパイプからは、有毒な成分が含まれた排気ガスが排出され、締め切った車庫や倉庫の中などでエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒の危険があります。エンジンを動かす時は、屋外、又は窓を開け、換気扇などを回し、新鮮な外気を取り入れられる場所で作業して下さい。
- ・車の中で休憩や仮眠をとる時は、必ずエンジンを停止して下さい。エンジンが動いたまま停車、又は駐車して、休憩や仮眠をとると、排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。
- ・エンジン停止直後は、絶対に作業を行わないで下さい。エンジン停止直後は、エンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があり危険です。
- ・取付け箇所・取付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにして下さい。誤った取付け箇所・取付け方法は、脱落を招き、運転の妨げになる可能性があり、大変危険です。
- ・運転中は絶対にインテリジェントインフォメーターecoの操作をしないで下さい。わき見運転は**思わぬ人身事故を引き起こす恐れがあります。**
- ・助手席のエアバック等の上に、**本製品を取付けしないで下さい。**エアバック作動時に外れ飛び、ケガや事故を引き起こす原因となり大変危険です。
- ・車両を発進させる時は、必ず周りに何も無い事を確認して下さい。不用意に発進させると、**思わぬ人身、物損の事故等を引き起こす恐れがあります。**
- ・本製品を取付けた車両を、他の人に貸し出し、または譲渡する場合は、必ず本製品が取付けられていることを知らせ、この**取扱説明書と保証書も必ず渡して下さい。**
- ・作業終了後は必ず、運転席の足元に何も無いことを確認して下さい。運転席の足元に空き缶や使用した工具などがあると、ブレーキペダルの下にはさまり、ブレーキ操作が出来なくなるなどの恐れがあり、大変危険です。

 注 意

- ・本製品の取付けには、車両内装の取外し等の作業がともなう場合があります。**当社はこれらの作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を進めて下さい。**
- ・くれぐれも、誤配線、ショート等はさせないで下さい。本製品だけでなく、取付け車両の電装系等まで、破損させる恐れがあります。これらの取付けミスによる損害に関して、**当社は一切の責任を負うことはできません。**
- ・本製品は、上面のクリアカバー以外は絶対に分解しないで下さい。ケース破損や故障の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。
- ・取付けの際は、必ず付属のハーネスをそのまま使用し、絶対に加工、改造等しないで下さい。故障の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。
- ・本製品は、湿気ほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、ヒーター吹出し口等の高温になる場所、またその近くには取付けしないで下さい。
- ・液晶表示画面バックライトの明るすぎる調整で画面を見つめると、気分が悪くなる場合がありますので、調整は十分に注意して行って下さい。
- ・偏光サングラス等を使用して、液晶表示画面を見る場合、角度により、画面が暗く見えたり、歪んで見える場合があります。
- ・本製品は周囲温度が約75℃以上、又は約-10℃以下になると液晶表示画面が黒くなったり、表示する文字、キャラクター表示等に遅れが出る場合がありますが、液晶パネルの特性であり故障ではありません。
- ・本製品は装着ただけで燃費がよくなるわけではありません。
- ・表示される燃費値は、実際に走行した燃費と異なる場合があります。
- ・急激な速度変化が繰り返された場合は、距離表示値が実際に走行した距離と異なる場合があります。
- ・他の装置（スピードリミッターカットコントローラー）等が取付けられている車両では正常に動作しない可能性があります。

## お願い

- ・バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリー機能を持った時計、オーディオ類、ナビゲーションシステム、および電動シートなど、記憶内容が消去される物があります。作業前に、車両、及び各製品の取扱説明書で確認した上で、作業を始めて下さい。作業終了後、それぞれの取扱説明書にしたがって、設定し直して下さい。
  - ・本製品は、精密機器の為、落としたり強い衝撃を与えたりしないで下さい。
  - ・本製品をお買上げ後、7ページのパーツがあることをご確認ください。
  - ・新品をお買上げの時点で、保証書の製品番号と本体ケーブル部に付属の製品番号が異なる場合は、お手数ですがお買上げ店、又は弊社までご連絡下さい。
  - ・本製品のお手入れの際は、乾いた布で拭いて下さい。汚れのひどい場合には、少量の水をつけ固く絞った布で拭いて下さい。ベンジン・シンナー類を使用すると、ケースや塗装が変質しますので絶対に使用しないで下さい。
  - ・本製品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。
- For Sale and Use Japan Only.
- ・本製品に関するご不明な点などがございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。(住所・電話番号は下記記載。最終ページにも記載。)

## 使用者の方へお願い

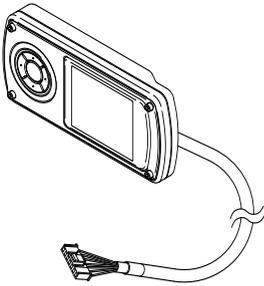
- ・取付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ずお客様に返却して下さい。

その他、各項目ごとに注意事項を掲載しておりますので、必ずお読み下さい。

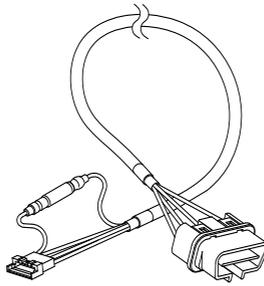
株式会社トラスト 本社

〒289-1605 千葉県山武郡芝山町大台3155番地5 TEL.0479 (77) 3000

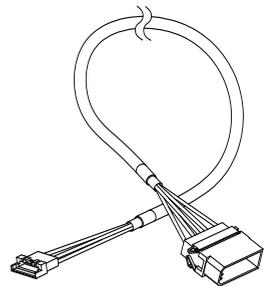
## 部品構成



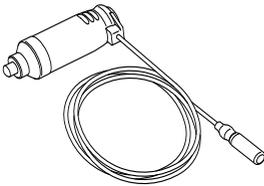
インテリジェント  
インフォーマーeco  
本体 1個



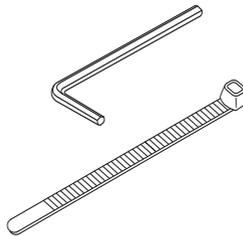
ODBハーネス  
1本



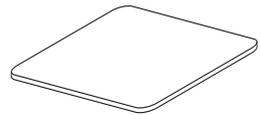
NON-ODBハーネス  
1本



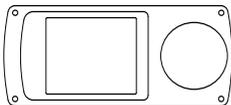
シガーライタープラグ  
1本



六角レンチ 1本  
タイラップ 2本



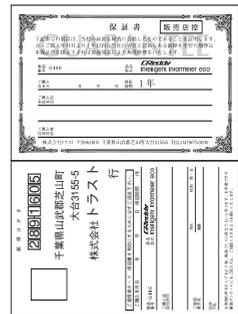
両面テープ 1枚



着せ替えシート 9色  
プライバシーシート 1枚



取扱説明書 (本書)  
1部



保証書 1部

## 本製品の特徴

### 【楽しくエコドライブ】

- ・インテリジェントインフォメーターecoは、車の燃費をゲーム感覚で、フルカラー液晶に「キャラクターモード」、「採点モード」、「グラフモード」、「デジタルモード」による今までになかった多彩な表現で燃費を表示。燃費を把握することによりecoドライブを可能にします。車にも環境にもそしてお財布にも優しいドライブをサポート。

### 【ゲーム感覚で楽しくecoドライブ】

#### ●キャラクターモード

『加速0』、『減速』の状態と『平均燃費』を融合させ、あなたの選んだキャラクターが走行状態を、燃費状態により、画面内を走り回ります。ユニークなキャラクターで燃費状態を表現。

#### ●採点モード

あなたの走行状態を採点して表示、高得点で燃費もアップ！

### 【燃費が見える】

#### ●グラフモード

過去10分、30分、90分の平均燃費データをグラフ表示させることで、視覚的に燃費状態を把握できます。

#### ●デジタルモード

- ・瞬間燃費 (km/L) エンジン始動後から、走行中の燃料消費量から算出した現在の燃費。
- ・平均燃費 (km/L) エンジン始動後の走行開始時点から、エンジン停止までの燃費。
- ・積算燃費 (km/L) エンジン始動後から、過去20時間の燃費。一般的な満タン法と呼ばれる値に近い。
- ・区間燃費 (km/L) 走行開始時点から、停車までの、一区間毎の燃費。
- ・その他、スピード、回転、水温、消費燃料、ガソリン代も表示可能です。2連・3連・6連モニターで瞬時にキャッチします。

### 【機能だけでなく外見も】

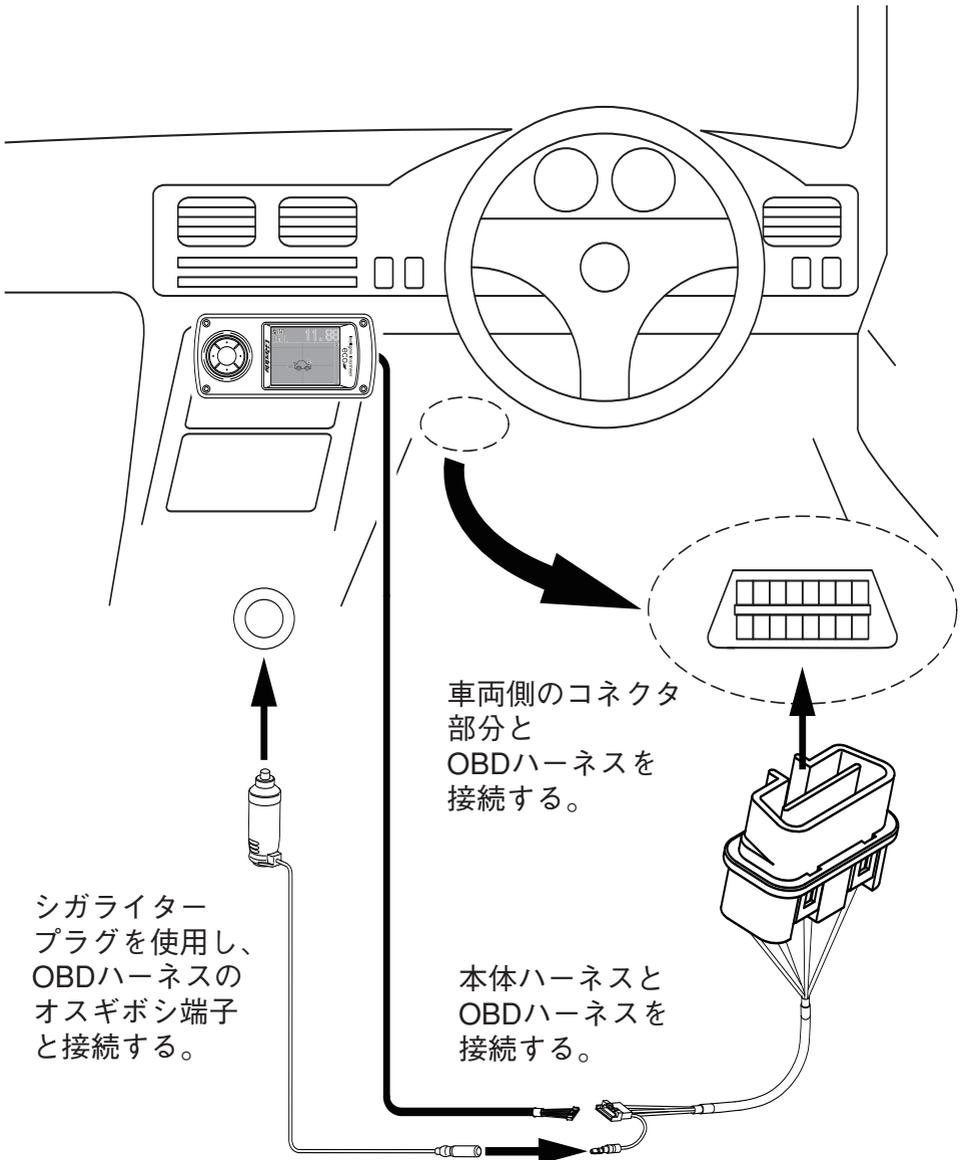
- ・ボディカラーにはホワイト・ブラックの2色を用意。さらにインテリジェントインフォメーターでおなじみの9色のカラーシートでフロントパネルのイメージを自由に変更可能です。
- ・65,000色フルカラー液晶で見やすさアップ。
- ・カプラーオンで簡単取付け。

※本製品は装着しただけで、燃費がよくなるわけではありません。

## 取付け方法

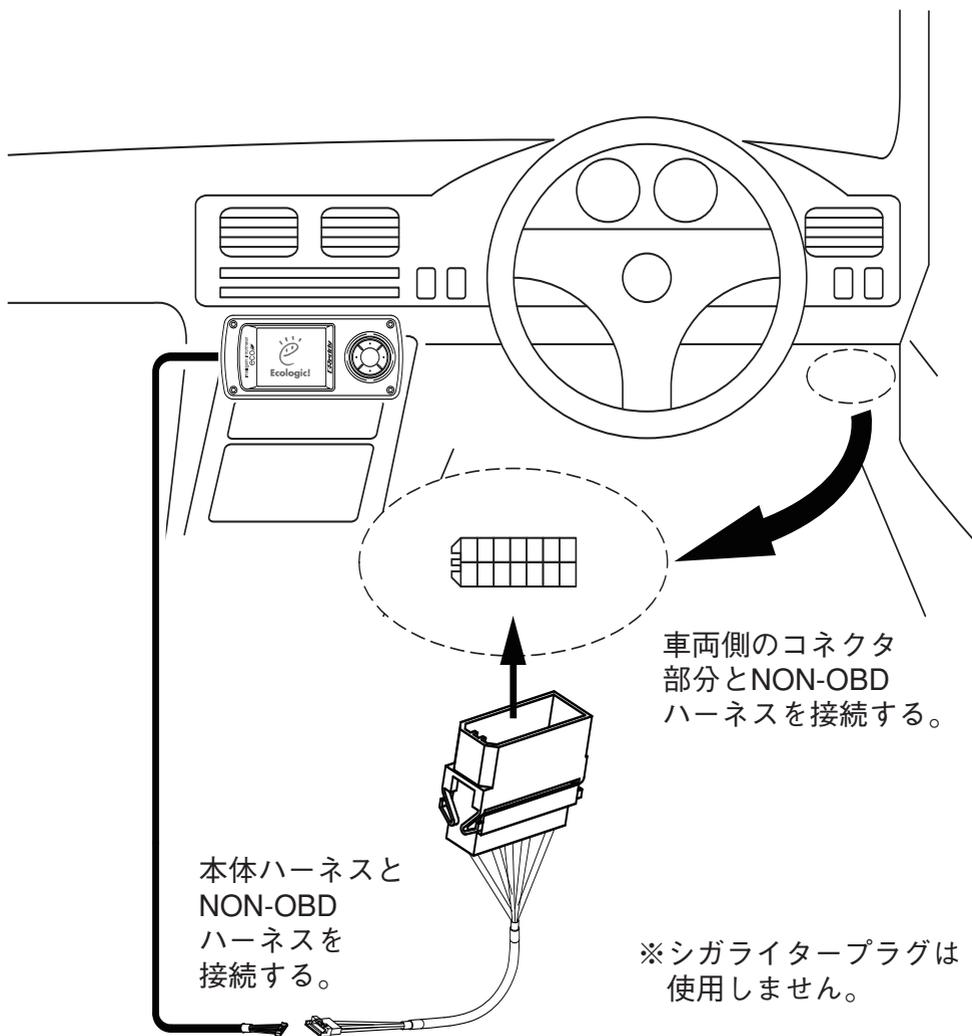
### 【車両への配線方法 OBDハーネスを使用する場合】

※下記図のコネクタ位置は一例です。詳しくは弊社ホームページをご確認ください、



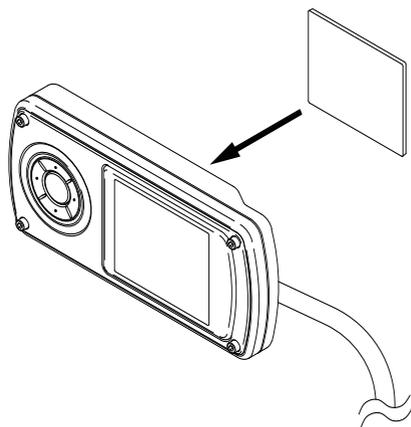
**【車両への配線方法 NON-OBDハーネスを使用する場合】**

※下記図のコネクタ位置は一例です。詳しくは弊社ホームページをご確認ください、

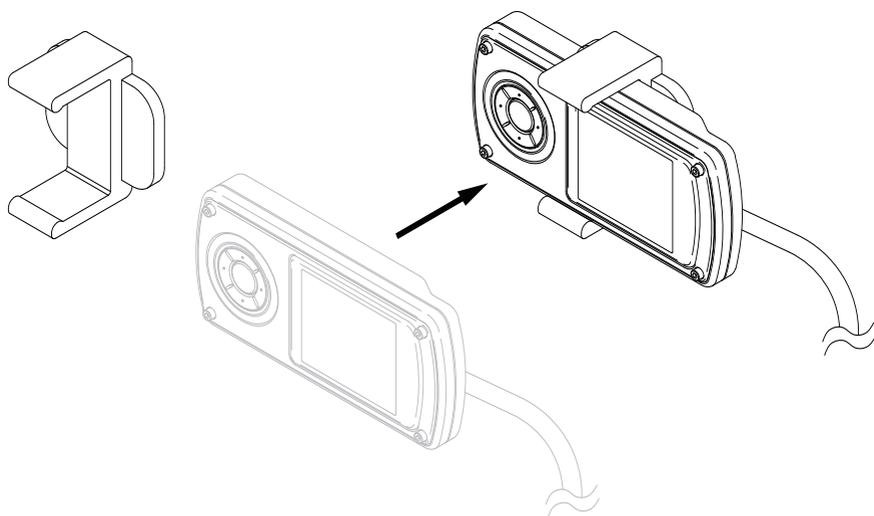


## 取付け方法

【本体の取付け方法 付属の両面テープを使用する場合】



【本体の取付け方法 市販の携帯電話ホルダーを使用する場合】

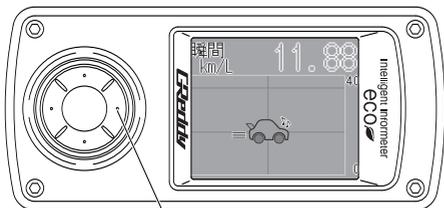


- ・詳しい取扱方法はご使用の携帯電話ホルダー付属の取扱説明書を参照し、絶対に脱落等のないように取付けを行って下さい。
- ・液晶画面の保護、盗難予防等の観点からも、取外しが可能な状態での取付けをお勧め致します。

## 各部の名称

【インテリジェントインフォメーターeco（以下G I I E または本体と称す）各部の名称】

ノーマルポジション



※ノーマルポジション時の  
RIGHTボタン位置

リバースポジション



※リバースポジション時の  
LEFTボタン位置

UPボタン  
(以下Uと称す)

LEFTボタン  
(以下Lと称す)



RIGHTボタン  
(以下Rと称す)

DOWNボタン  
(以下Dと称す)

ENTERボタン  
(以下Eと称す)

UPボタン  
(以下Uと称す)

・各種メニューの上移動、または、設定値を上げる時に使用します。

DOWNボタン  
(以下Dと称す)

・各種メニューの下移動、または、設定値を下げる時に使用します。

LEFTボタン  
(以下Lと称す)

・各種メニューの左移動、または、各設定モードから、元に戻る場合に使用します。

RIGHTボタン  
(以下Rと称す)

・各種メニューの右移動、バックライトの減光、または、キロックモードへの切替時に使用します。

ENTERボタン  
(以下Eと称す)

・各種メニューの選択開始、または決定、確定時に使用します。

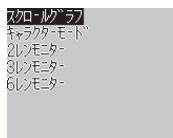
※どちらのポジションの場合でも、画面に対し、正面から見た状態でボタン位置は決まります。

本体サイズ（ハーネス部含まず）：縦46mm×横100mm×厚さ20mm

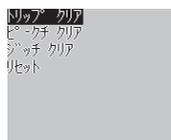




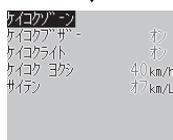
## モニタリング項目



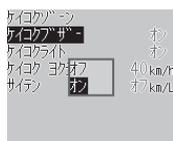
## トップメニュー



## ショキカ項目



## カンシセッテイ項目



## 操作の前に・・・

### 【LANGUAGE(ゲンゴ)の設定方法】

・画面操作説明は日本語で行いますので、初めて電源を入れた場合は、右の画面を参照し、LANGUAGE(ゲンゴ)の設定を行います。

※英語表示のままが良い方はそのまま次ページ以降へ進んで下さい。

・図1段目トップメニュー左のBASIC SETTINGアイコンを選択、確定する。

・各設定項目名が表示され、LANGUAGE選択、確定する。

・言語名項目が表示され、現在選択されているENGLISHからJAPANESEを選択、確定する。

・全体が日本語表記に切り替わった事を確認し、Lを必要回数押して再び、トップメニューに戻して下さい。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、トップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。



**【初めてGIIEを取付けた車両の場合】**

・ 初めてGIIEを取付けた車両では、次ページのメーカー設定を行う前に、取付車両へ燃料給油を行い満タン状態にし、車両のトリップメーターをリセットしてから操作を進めて下さい。  
(車両を乗り換えた場合も同様です。)

・ この作業は、燃費データをより正確なものにするために必要ですので、必ず行って下さい。

・ 上記作業が完了後、次ページ以降の操作へ進んで下さい。

※車両のトリップメーターリセット後、通常と同じ条件で100～200km以上（200km以上を推奨）走行し、1回目の給油を行い、給油量と車両のトリップメーターの実際値（実値）をGIIEへ入力することで、取付車両の補正值が決まります。ここで初めて表示される値が正確になります。

※このジッチ（実値）が入力されるまでは、モニタリングされた距離、燃費、燃料、費用は正確な値ではありません。

※詳細は、27～28ページの『補正について』及び、30ページの【ジッチ】を参照して下さい。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、トップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。

## メーカー設定

### 【メーカー設定方法】

・図1段目を参照し、トップメニュー真中のMAKERアイコンを選択、確定する。

・図2段目のように各メーカー名が表示され、取付車両に該当するメーカー名を選択、確定する。

※画面内に表示されていないメーカー名はU、Dにてメーカー名をスクロールすると表示されます。

・GIIE本体と車両側のECUと接続を確認し、トップメニューのMAKERアイコンの上側に選択されたメーカー名が表示されます。

・この状態で取付車両のモニタリング可能となります。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、トップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。

※Rを2秒以上押すことで、液晶画面及びボタンライトの減光を2段階で調整可能です。1度目のRを2秒以上押して、1段減光、2度目のRを2秒以上押して2段減光、3度目のRを2秒以上押して元の明るさに戻ります。



## モニタリング項目

【モニタリング項目】 ※ ( ) 内の第二項目単位は単位変更（エイゴ表示時に使用）した際の表示です。

### ○車速 (km/h・MPH)

- ・車両走行中の速度を表示します。目標速度までの目安となります。

### ○回転 (rpm)

- ・純正タコメーターが付いていない車両はもちろん、タコメーターついている車両でも警告ゾーン設定を行うことで、車両のエンジン回転数を細かく把握でき、効率のよい運転で燃料消費を抑えることにつながります。

### ○水温 (℃・°F)

- ・車両の冷却水温度を表示します。これを監視することで、エンジンのコンディションやオーバーヒートといったトラブルを未然に回避することができます。
- ・純正水温計が簡略化され、警告マークのみになっている車両での、温度監視に役立ちます。

### ○距離 (km・mile)

- ・車両のトリップメーター同様の使用方法が可能で、0~999.9kmまで計測可能です。

### ○瞬間【瞬間燃費】 (km/L・mile/gal)

- ・エンジン始動後の走行開始時点から、走行中の燃料消費量から算出した現在のリアルタイムな燃費です。信号待ちなどの停止時には0.00表示になります。

### ○平均【平均燃費】 (km/L・mile/gal)

- ・エンジン始動後の走行開始時点から、エンジン停止までの燃費。エンジン停止毎に0.00表示になります。

### ○積算【積算燃費】 (km/L・mile/gal)

- ・エンジン始動後から、過去20時間の平均燃費。一般的な満タン法と呼ばれる値に近い。20時間以上の値は保持せず、最新の値が更新されます。

### ○区間【区間燃費】 (km/L・mile/gal)

- ・走行開始時点から、停止までの一区間毎の燃費。

### ○燃料【燃料消費量】 (L・gal)

- ・消費燃料量を0~99.99Lまで計測可能です。走行中どのくらい燃料が消費されているかを量単位で確認できます。

### ○費用 (¥・\$)

- ・キホンセッテイにて設定したガソリタンカ（ガソリン単価）を燃料消費量から算出し、走行中どのくらい燃料が消費されているかを金額単位で確認できます。

## モニタリング

### 【モニタリング方法スクロールグラフの場合1】

○面グラフをイメージした表示で、上段に1項目データ表示可能な表示方法です。

・図1段目を参照し、トップメニューのモニタリングアイコンを選択、確定する。

・各モニタリング画面名が表示され、表示させたい画面名を選択、確定する。

・図2段目ではスクロールグラフを選択、確定する。

・初期設定では上段に瞬間燃費が選択されています。表示項目を変更する場合はEを押し、表示項目を反転させます。

(この操作は5秒間なにも操作しないと、反転が戻り選択が解除されます。)

・この状態でもう一度Eを押しと表示項目名が表示され、変更したい項目を選択、確定する。

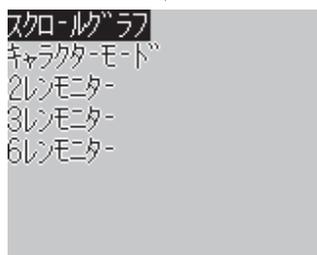
・表示値の変更ができます。この場合、Eを押し、表示項目を反転させます。(この操作は5秒間なにも操作しないと、反転が戻り選択が解除されます。)

・この状態でDまたはUを押すと表示値が反転表示され、この状態でEを押すと図4段目のように、表示値項目が表示され、変更したい表示値項目を選択、確定する。

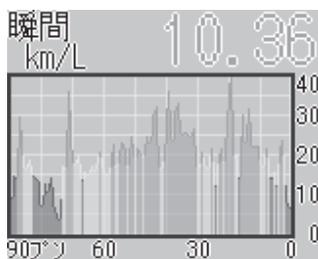
※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。

※ジッチ（実値）が入力されるまでは、モニタリングされた距離、燃費、燃料、費用は正確な値ではありません。

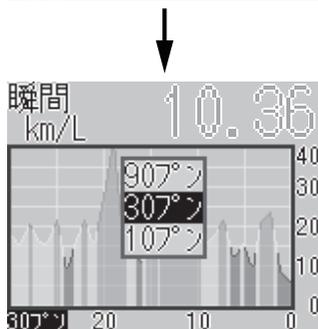


## 【モニタリング方法スクロールグラフの場合2】



・スクロールグラフは平均燃費のデータを1分ごとに更新行い、横軸を過去90分、30分、10分の3パターンのスケール値に変更可能です。

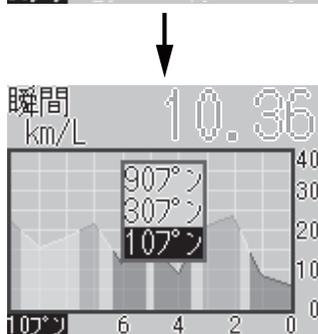
・この場合、Eを押し、表示項目を反転させます。(この操作は5秒間なにも操作しないと、反転が戻り選択が解除されます。)



・この状態でDまたはUを押すとスケール値が反転表示され、この状態でEを押すと図2段目のようにスケール値項目が表示され、変更したいスケール値項目を選択、確定する。

・縦軸の平均燃費値も40km/L、20km/Lの2パターンの表示に変更可能です。

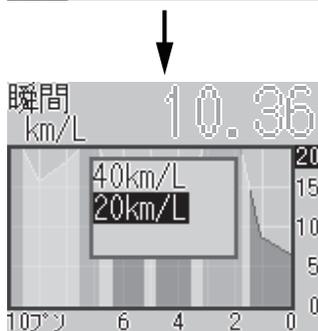
・平均燃費値が20km/Lを超えない車両の場合はこのスケール値を変更すると、グラフが見やすくなります。



※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。

※ジッチ (実値) が入力されるまでは、モニタリングされた距離、燃費、燃料、費用は正確な値ではありません。



## モニタリング

### 【モニタリング方法キャラクターモードの場合1】

○平均燃費データを縦軸に、画面中央から右側を加速レベル、左側を減速レベルとして、9種類のキャラクターで表示する方法です。

・図1段目を参照し、トップメニューのモニタリングアイコンを選択、確定する。

・各モニタリング画面名が表示され、表示させたい画面名を選択、確定する。

・図2段目ではキャラクターモードを選択、確定する。

・初期設定では上段に瞬間燃費が選択されています。表示項目を変更する場合はEを押し、表示項目を反転させます。  
(この操作は5秒間なにも操作しないと、反転が戻り選択が解除されます。)

・この状態でもう一度Eを押しと表示項目名が表示され、変更したい項目を選択、確定する。

・表示値の変更ができます。この場合、Eを押し、表示項目を反転させます。(この操作は5秒間なにも操作しないと、反転が戻り選択が解除されます。)

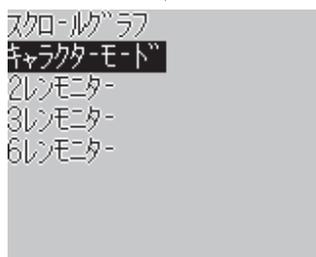
・この状態でDまたはUを押しと表示値が反転表示され、この状態でEを押しと表示値項目が表示され、変更したい表示値項目を選択、確定する。

・右の例では、表示値をカクダイヒョウジに変更する画面です。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。

※ジッチ（実値）が入力されるまでは、モニタリングされた距離、燃費、燃料、費用は正確な値ではありません。





## 【モニタリング方法キャラクターモードの場合2】

- ・図1段目では車両停止状態を表しています。
- ・図2段目では、急な加速状態の為、瞬間燃費値が低く、それに伴い、平均燃費値も低下している為、キャラクターの上下ポジションは低く、右側へ移動しています。
- ・図3段目では、ほぼ一定な走行状態な為、瞬間燃費値が高く、それに伴い、平均燃費値も上昇している為、キャラクターの上下ポジションも高く、左右への移動もありません。
- ・図4段目では、図3段目の状態から、減速（エンジブレーキ）が効いている状態な為、瞬間燃費値は39.99km/Lの最大値を表示し、キャラクターは左側へ移動します。
- ・このキャラクターの左右方向への移動量を最小限に抑えることで、上昇方向へキャラクターの移動促し、燃費の向上につながります。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押しして下さい。

※ジッチ（実値）が入力されるまでは、モニタリングされた距離、燃費、燃料、費用は正確な値ではありません。

## モニタリング項目

### 【モニタリング方法2レンモニターの場合】

○視認性第一主義なら、大型デジタル2レン表示のこの表示方法を・・・。

・図1段目を参照し、トップメニューのモニタリングアイコンを選択、確定する。

・各モニタリング画面名が表示され、表示させたい画面名を選択、確定する。

・図2段目では2レンモニターを選択、確定する。

・初期設定では車速が上段に、回転が下段に選択されています。表示項目を変更する場合はEを押し、表示項目を反転させます。

(この操作は5秒間なにも操作しないと、反転が戻り選択が解除されます。)

・この状態でもう一度Eを押しと表示項目名が表示され、変更したい項目を選択、確定する。

・表示値の変更ができます。この場合、Eを押し、表示項目を反転させます。(この操作は5秒間なにも操作しないと、反転が戻り選択が解除されます。)

・図3段目では、上段がゲンザイ+ピーク、下段がゲンザイ+グラフの表示状態です。

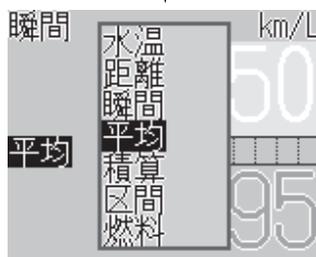
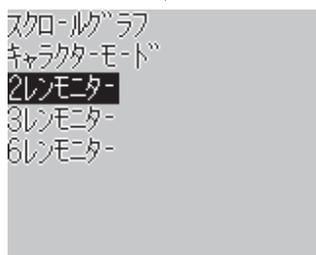
・この状態でDまたはUを押しと表示値が反転表示され、この状態でEを押しと表示値項目が表示され、変更したい表示項目を選択、確定する。

・他の段へ移動する場合は同じ要領で、一度Eを押し、表示項目を反転させ、DまたはUを必要回数押しして移動します。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押しして下さい。

※ジッチ（実値）が入力されるまでは、モニタリングされた距離、燃費、燃料、費用は正確な値ではありません。



## モニタリング項目

### 【モニタリング方法3レンモニターの場合】

○2レン表示では物足りない、もう1項目必要な方は、3レンのこの表示方法を・・・。

・図1段目を参照し、トップメニューのモニタリングアイコンを選択、確定する。

・各モニタリング画面名が表示され、表示させたい画面名を選択、確定する。

・図2段目では3レンモニターを選択、確定する。

・初期設定では車速が上段、回転が中段、水温が下段に選択されています。表示項目を変更する場合はEを押し、表示項目を反転させます。

(この操作は5秒間なにも操作しないと、反転が戻り選択が解除されます。)

・この状態でもう一度Eを押しと表示項目名が表示され、変更したい項目を選択、確定する。

・表示値の変更ができます。この場合、Eを押し、表示項目を反転させます。(この操作は5秒間なにも操作しないと、反転が戻り選択が解除されます。)

・図3段目では、上段がカクダイ、中段がゲンザイ+ピーク、下段がゲンザイ+グラフの表示状態です。

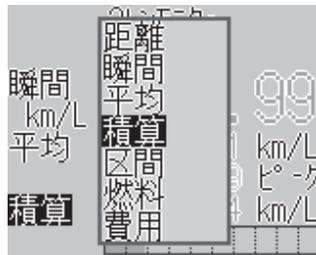
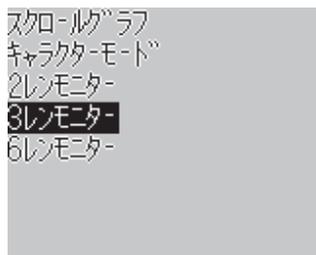
・この状態でDを押すと表示値が反転表示され、この状態でEを押すと表示値項目が表示され、変更したい表示項目を選択、確定する。

・他の段へ移動する場合は同じ要領で、一度Eを押し、表示項目を反転させ、DまたはUを必要回数押しして移動します。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押しして下さい。

※ジッチ（実値）が入力されるまでは、モニタリングされた距離、燃費、燃料、費用は正確な値ではありません。



## モニタリング項目

### 【モニタリング方法6レンモニターの場合】

○できる限り多くの項目に監視の目を光らせたければ、この6レンモニター表示を……。もちろん表示項目は自由に設定、変更可能です。

- ・図1段目を参照し、トップメニューのモニタリングアイコンを選択、確定する。
- ・各モニタリング画面名が表示され、表示させたい画面名を選択、確定する。

- ・図2段目では6レンモニターを選択、確定する。
- ・初期設定では車速が1段目、回転が2段目、以降順番に表示項目が選択されています。表示項目を変更する場合はEを押し、表示項目を反転させます。(この操作は5秒間なにも操作しないと、反転が戻り選択が解除されます。)

- ・この状態でもう一度Eを押しと表示項目名が表示され、変更したい項目を選択、確定する。
- ・表示値の変更ができます。この場合、Eを押し、表示項目を反転させます。(この操作は5秒間なにも操作しないと、反転が戻り選択が解除されます。)

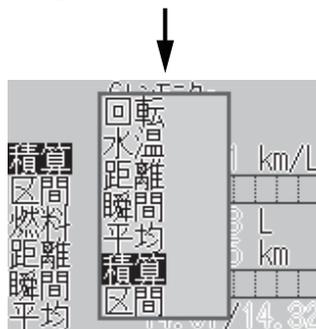
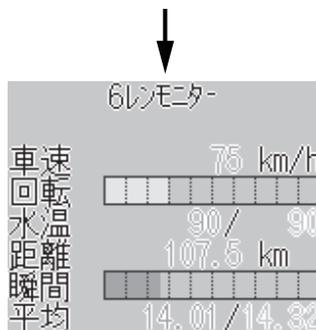
- ・図3段目では、1段目がゲンザイ、2段目がグラフ、3段目がゲンザイ+ピーク、以下同様の表示状態です。
- ・この状態でD（またはU）を押すと表示値が反転表示され、この状態でEを押すと表示値項目が表示され、変更したい表示項目を選択、確定する。さらに下（または上）の段の項目を変更したい場合は、D（またはU）を必要回数押し設定して下さい。

- ・6レンモニター時にRを押すと、表示データのキロク、サイセイができます。Rを押し、キロク/サイセイ項目が表示され、任意の項目を選択、確定することで使用できます。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。

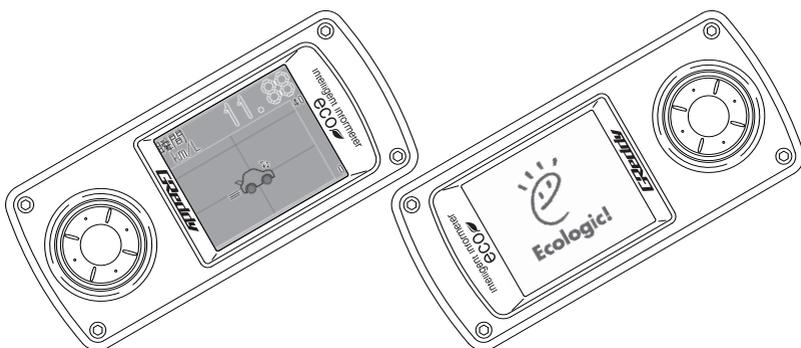
※ジッチ（実値）が入力されるまでは、モニタリングされた距離、燃費、燃料、費用は正確な値ではありません。



# Greddy Intelligent Informeter eco



## 補正について



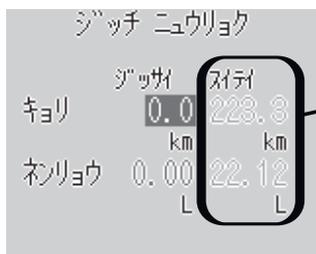
Intelligent Informeter eco に正確な燃費を表示させるにはジッチ（実値）入力が必要です。実値入力を行っていない場合、または実値入力が正常に行えていない場合は正確な燃費データは表示されませんのでご注意ください。

## 補正と実値入力について

- ここでは、GIIEの補正值算出の仕組みとジッチ（実値）入力について説明します。よくお読みになり、ご理解頂いた上で正しくご使用下さい。

### 【GIIEの仕組み】

- ・本製品は単にジッチで入力された値から燃費を計算している訳ではなく、**本体側でも走行距離と消費燃料を推測しております。**この推測された数値は、ジッチニューヨーク画面にスイテイ（推定）値として表示されます。



eco側で推測した  
走行距離と消費燃料の  
スイテイ（推定）値

- ・このスイテイ（推定）値と、ジッチで入力されたジツサイ（実際）値とを照らし合わせ、その誤差を補正していくことで正しい数値が表示される仕組みとなっております。この誤差を補正する係数のことを補正係数と呼び、ジッチ（実値）入力はこの補正係数を算出する為に必要となります。GIIE取付け時、すぐにメーカー設定を行ってしまうと、その時点からキヨリ（距離）とネンリョウ（燃料）のスイテイ（推定）が始まってしまいます。
  - ・先に燃料を満タンにし、トリップメーターをリセットした後でメーカー設定を行って頂くのは、キヨリ（距離）とネンリョウ（燃料）のスイテイ（推定）値に誤差が出るのを防ぐためです。
- ※すでにメーカー設定をされている場合は、一度本体をリセット（P35参照）してください。

## 【ジッチ入力の方法】

・ジッチ（実値）入力については次の手順に従い、正しく行って下さい。

**手順1.**GIIEを初めて取付ける車両は、まず燃料を満タンにし、車両のトリップメーターをリセットします。

**手順2.**次にメーカー設定（P17参照）を行います。

**手順3.**通常と同じ条件で100～200km以上（200km以上を推奨）走行します。

※この時はまだ、補正值算出中の為、距離、燃費、燃料、費用は正確な値ではありません。

**手順4.**走行後、再び燃料を満タンにします。

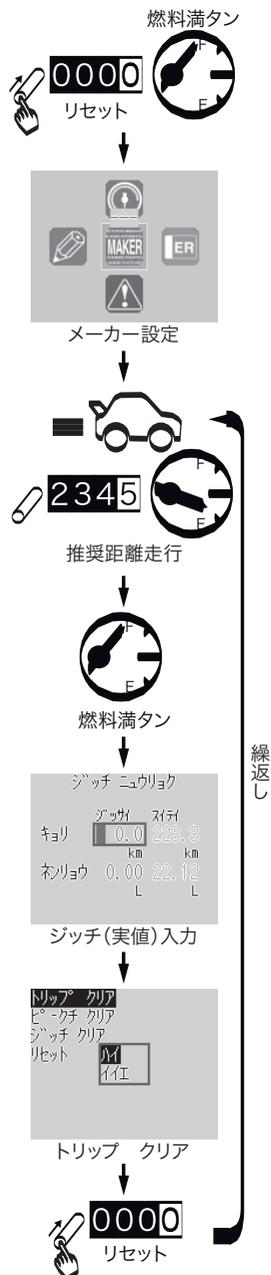
※給油の際、走行条件はもちろんです。が、燃料給油状態の違いも補正值算出に影響しますので、給油口付近まで同じ状態で給油を行って下さい。

**手順5.**ここでトップメニューのキャンセッテイから、ジッチ（実値）入力を行います。入力画面のジッサイ（実際）の部分に、手順3.で実際に走行したキロリ（距離）と、手順4.で実際に給油したネンリョウ（燃料）量を入力します。この時、トウロク（登録）する前に、入力したジッサイ（実際）値と、右側のGIIEで推測されたスイテイ（推定）値が極端にかけ離れた値でない事を確認してからトウロク（登録）を行って下さい。

※最初のジッチ（実値）入力ではスイテイ（推定）値との誤差が多少ございますが、極端に違う場合はリセット（P35参照）してもう一度最初からやり直して下さい。

**手順6.**ここで初めて正確なデータが表示されるようになります。ジッチ（実値）入力後、次のジッチ（実値）入力に備え、GIIE側のトリップクリア（P35参照）と車両側のトリップメーターをリセットしておきます。

・上記の手順3～6を繰返し行うことで数値が補正され、ジッサイ（実際）値とスイテイ（推定）値の誤差が少なくなっていく、より正確な燃費データが表示されます。



## キホンセッテイ

○図1段目を参照し、トップメニューのキホンセッテイアイコンを選択、確定し、以下の項目の設定を行って下さい。

### 【ゲンゴ】

・エイゴとニホンゴの表示選択が可能です。

### 【タンイ】

・ゲンゴの設定変更にともない、タンイ（単位）もkm/hとMPHの表示選択が可能です。

※詳細は

### 【コントラスト、バックライト】

・液晶表示部のコントラスト及び、バックライトを1～32段階まで調整が可能です。

### 【スイッチライト】

・図2段目を参照し、ボタン部分のライトの色をホワイト、シアン、パープル、アンバー、ピンク、イエロー、グリーン、そしてそれらの色をシームレスに変化させるグラデーションの8パターンの表示色選択が可能です。

※色によっては、中間色が混ざり、イメージと違う色に見える場合があります。

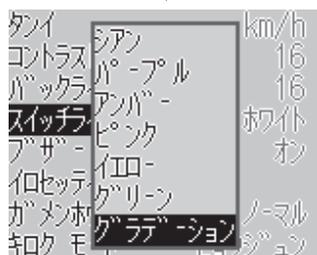
### 【ブザー】

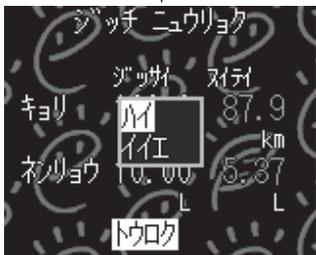
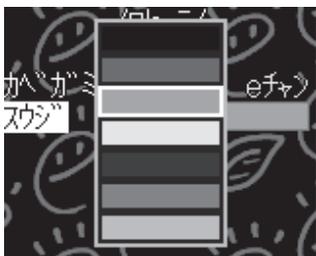
・ボタンの操作音をオン/オフすることが可能です。

### 【イロセッテイ】

・図3段目を参照し、カベガミとしてeチャン、ブロック、ドット柄と弊社ロゴの4つのオリジナル以外にクロ、アカ、ミドリ、キイロ、アオ、マゼンタ、シアン、シロ、クライアオ、アカルイアオ、アカルイハイイロ、クライハイイロ、クライミドリ、クライアンバーの14色を加え18種類のカベガミが選択可能です。

・数値の色も26色から選択が可能です。カベガミを変更した際に、数値を見やすい色に変更できます。但し、ケイコクゾーン設定で設定された、イエロー、レッドの各ゾーンに入った場合は、それぞれイエロー、レッド反転で表示します。





#### 【ガメンホウコウ】

・利き手によるボタン位置の選択、または取付車両のハーネスレイアウトにより画面方向を180度変えられます。

#### 【キロクモード】

・キロク項目数及び取付車両により変わりますが、スムーズな数十秒記録から、ヒョウジュン、及び十数分のロングの3種類から選べます。

#### 【ジッチ】

・図2段目にて、ジッチ（実値）を選択、確定し、実際に走行した距離（取付車両のトリップメーターの値）と、その時に給油した燃料量を図3段目を参照し、U、Dにて入力数値の設定、L、Rにて桁移動を行います。

・ジッサイ（実際）のキョリ（距離）と、ネンリョウ（燃料）の2つの入力を行うと、図4段目のように、下段にトウロク（登録）の確認が出ますので、入力数値に間違いがなければ、ハイを選択、確定して下さい。

・この入力により取付車両に合わせた補正が行われますので、これ以降の走行から、モニタリングされた距離、燃費、燃料、費用等は正確な値で表示されます。

・より補正を有効なものにする為に、上記のジッチ（実値）入力を2~3回程度行うことをおすすめ致します。

※この際、走行条件はもちろんですが、燃料給油状態の違いも影響しますので、給油口付近まで同じ状態で給油を行って下さい。

・異なった条件、状態での数値を入力されますと、補正が上手く行えなくなります。必ず、走行条件は通常と同じ条件で100~200km以上（200km以上を推奨）走行を行って下さい。

## キホンセッテイ (つづき)

### 【ガソリタンカ】

・給油するガソリタンカ（ガソリン単価）を入力することにより、消費燃料から費用を表示することが可能です。

### 【ボディイメージ】

・キャラクターモード時に画面内を動き回るキャラクターの選択が可能です。

・図1段目を参照し、ボディイメージ項目を選択、確定し、GIIでおなじみのeチャンキャラクターをはじめ、取付車両のボディイメージを再現した8種類のキャラクターを選択可能です。

・初期設定はeチャンキャラクターに設定されています。

・図3段目ではスポーツを選択、確定しています。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。



## カンシセッテイ

○図1段目を参照し、トップメニューのカンシセッテイアイコンを選択、確定し、以下の項目の設定を行って下さい。

### 【ケイコクゾーン】

・図2段目の例ではケイコク（警告）ゾーンを選択、確定する。

・表示可能項目の中で、警告させたい項目については、使用するモニタリング項目によって変わります。

・図3段目の例では、GIIのスクロールグラフ表示で効果的な設定方法として、平均（平均燃費）を使用します。

・ジッチ（実値）入力による補正が終了した後で、取付車両の通常の平均燃費がわかりましたら、その値をカゲン（下限）のイエローゾーン設定値として入力、カゲン（下限）のレッドゾーン設定値は下回りたくない燃費値を入力することで、より実用的ケイコクを行うことが可能です。

・図4段目の例では平均（平均燃費）のカゲン（下限）値のイエローゾーン設定値を20.00km/L、カゲン（下限）値のレッドゾーン設定値を15.00km/Lと設定しています。

・この設定を行うことで、20ページの画面のように、状態変化のわかりやすいグラフスクロール表示になります。

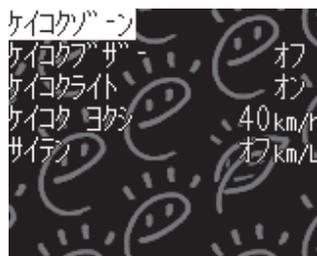
・初期設定ではオフに設定されています。

※カゲン（下限）値とは、その値を下回る場合の値。

※ジョウゲン（上限値）とはその値を上回る場合の値。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。



## カンシセッテイ (つづき)

### 【ケイコクブザー】

・図1段目、2段目の例ではケイコクゾーン設定にて設定された値になるとブザーを連動させるかどうかを設定出来ます。

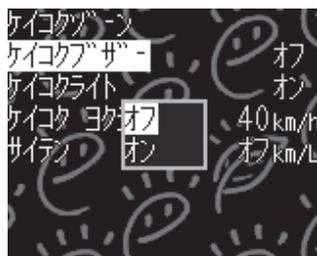
・この状態でもう一度Eを押すとオン/オフすることが可能です。



### 【ケイコクライト】

・図3段目の例ではケイコクゾーン設定にて設定された値になるとボタンライトを連動させるかどうかを設定出来ます。

・この状態でもう一度Eを押すとオン/オフすることが可能です。



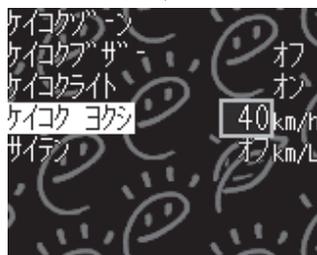
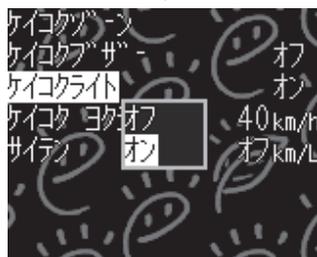
### 【ケイコクヨクシ】

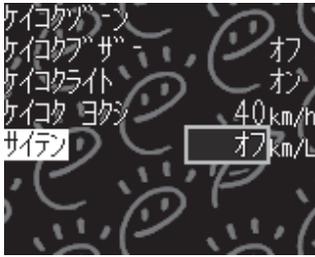
・図4段目の例ではケイコクヨクシ（警告抑止）項目にて設定された車速までは平均燃費のケイコクを行わないようにする設定です。車速の低い状態が続く、渋滞時等に、ケイコクが頻繁に行われないようにする設定のことで、わずらわしさを軽減できます。

・初期設定では40km/hに設定されています。使用条件に合わせて設定を行って下さい。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。





#### 【サイテン】

・図1段目の例ではサイテン（採点）項目にて設定された値を100点として、発進から停止までの区間燃費値を点数換算させるかどうかを設定出来ます。

・図2段目の状態でU、Dを押すと設定値を変更可能です。

・サイテン（採点）項目にて設定された値を100点として、発進から停止までの区間燃費値を点数換算します。

・この状態でRを押すとオフすることが可能です。

・初期設定ではオフに設定されています。

#### 【サイテンモードへの移行について】

・サイテンモードの設定が行われると、各モニタリング項目が選択された状態で走行を行うと、停止した時点で自動的にサイテンモード表示に移行します。

・図3段目ではキャラクターモード状態を表示している走行状態から、停止をすると図4段目のように、自動的にサイテンモードへ移行します。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。

## シヨキカ

○図1段目を参照し、トップメニューのシヨキカ（初期化）アイコンを選択、確定し、以下の項目の設定を行って下さい。

### 【トリップクリア】

・モニタリングしている距離を給油時にクリアする際に使用します。

・図2段目ではトリップクリアを選択、確定する。

・この状態でもう一度Eを押すとハイ/イイエの選択で各項目のピーク値をクリアすることが可能です。

### 【ピークチクリア】

・トリップクリア同様、モニタリングしている各項目をクリアする際に使用します。操作方法も同様です。

### 【ジッチクリア】

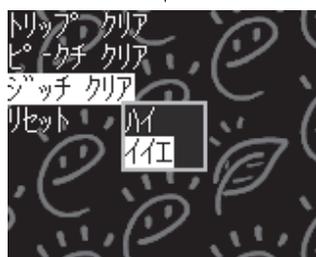
・図3段目では表示画面等の設定をそのまま、車両の乗り換えを行う際、ジッチ（実値）入力値をクリアし、再度取付けを行った車両にて補正を行う時に使用します。操作方はトリップクリアと同様です。

### 【リセット】

・図4段目では車両を乗り換えた際、または、ご自分でされた各種設定項目の設定を、元の製品出荷時の設定に戻すものです。この操作だけで、簡単に戻すことができます。操作方はトリップクリアと同様です。

※選択はU、D、L、Rを、確定はEを押し、操作して下さい。

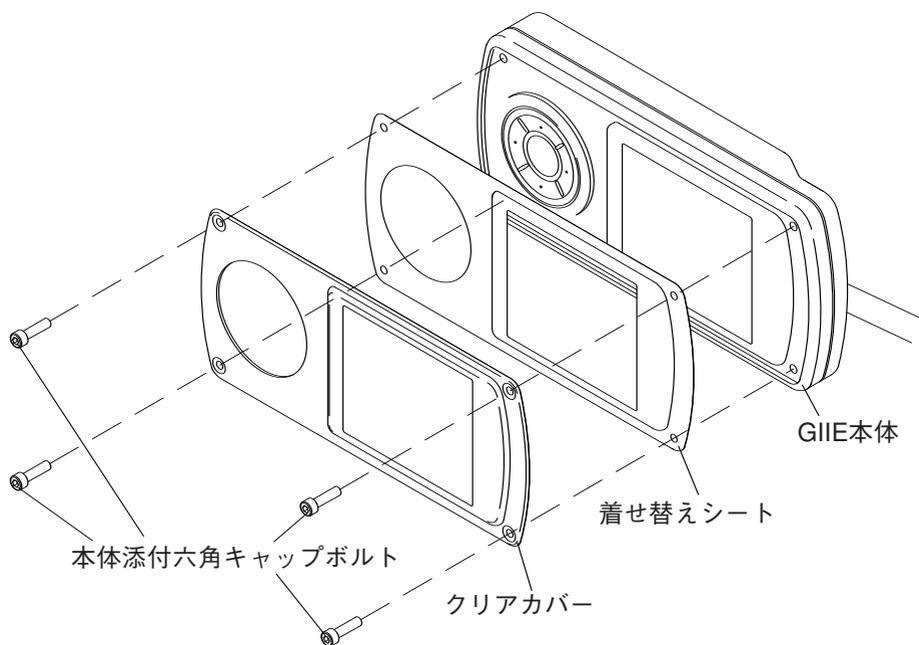
※元の画面または、反転解除及びトップメニューに戻る場合には、Lを必要回数押して下さい。



## 着せ替えシートの交換方法

### 【着せ替えシートの交換方法とシートの切り方】

- ・下の図を参照し、本体上側の六角キャップボルトを付属の六角レンチで丁寧に外し、クリアカバーを外します。
- ・外したクリアカバーを付属の着せ替えシートのネジ穴等に合わせ、型として使用し、外枠線をエンピツ等で丁寧に書いて下さい。
- ・その書いた線の内側をハサミまたはカッター等できれいに切り取って下さい。
- ・切り取ったシートをクリアカバーを外した時の逆の手順で取付けします。
- ・六角キャップボルトは締め込み過ぎないようにご注意下さい。



### ⚠ 注意

- ・ハサミまたはカッター等でシートを切る際は、くれぐれもケガをしないよう十分ご注意下さい。

## 燃費向上のための運転方法

●燃費はそれぞれの車種によって異なりますが、同じ車でも、運転する人によって大きく変わってきます。つまり、燃費の向上には運転する人の心掛けが最も大切なのです。ここでは燃費を向上させるためのいくつかの方法を紹介します。ぜひ参考にして下さい。

### 1.長時間のアイドリングはしない。

アイドリング中も、もちろん燃料を消費しているわけですから長いアイドリングは燃料の無駄遣いになってしまいます。暖気運転なども大切ですが必要最小限にしましょう。

### 2.空ぶかししない。

エンジンの回転エネルギーが動力として使用されていないわけですから、空ぶかしした分の燃料は当然すべて無駄になってしまいます。

### 3.急発進、急加速などの荒い運転はしない。

これは、ご存知の通りエコドライブの基本です。『急』の付く運転をすると大量に燃料を消費してしまいます。特に加速時は最もエネルギーが必要となる為、どうしても燃費は悪くなってしまいます。しかし効率の良い加速を行なうことで燃費の悪化を最小限に抑えることができます。また、加速だけでなく急な減速もエネルギーの無駄遣いです。

### 4.アクセルは一定に保つ。

一定速度で走りたいときは、アクセルも一定に保ちましょう。アクセルのオン/オフで車速をキープするような運転は、加減速を繰り返しているのと同じなので、燃費が悪くなってしまいます。

### 5.適切な速度で走行する。

スピードの出し過ぎはもちろん燃費の悪化につながります。高速走行中の車の空気抵抗は予想以上に大きいものです。空気抵抗が大きいと、前に進もうとするエネルギーのほとんどが空気を押し除けることに使われてしまい、燃費が悪化するのです。かといって遅すぎてもエネルギーを効率よく使えていないため燃費はよくありません。法定速度以内の適切な速度で走行しましょう。

### 6.車間距離を十分にとる。

車間距離が近いと、前の車に合わせて加減速を繰り返す運転になってしまう為、燃費が悪くなってしまいます。車間距離を十分にとることで等速に近い運転ができ、大幅な燃費向上が狙えます。後続車の迷惑とならないよう、適度な車間距離を保ちましょう。

### 7.エンジンブレーキを上手に使う。

減速時にはエンジンブレーキを使いましょう。ほとんどの車種は1000~1500rpm以上のときにアクセルオフにすると燃料供給がストップされるので、上手に使うことで燃費向上に貢献します。赤信号を確認したら速やかにアクセルオフにし、エンジンブレーキで減速しましょう。また長い下り坂などでもエンジンブレーキを多用しましょう。

◎前のページで燃費を向上させる為の運転の仕方を紹介しましたが、もっとレベルの高いエコドライバーを目指すあなたに、今までと違う観点から燃費向上法を紹介します。

### ・タイヤの空気圧を適正に保つ。

タイヤは路面に押しつけられて少なからず変形しています。この変形が大きいと路面との抵抗となり車が転がりにくくなります。そこでタイヤの空気圧を規定の空気圧に保ち、タイヤの変形を小さくすることによって路面との抵抗も少なくすることができます。タイヤの空気圧が規定通りに保たれているか確認してみましょう。ただし、空気の入れ過ぎはグリップ力の低下や、乗り心地の悪化を招くため規定の空気圧を超えないように注意して下さい。

### ・余計な荷物は積まない。

当然といえば当然なのですが、荷物をたくさん積むと車重が増えます。車重の増加は「走る」「曲がる」「止まる」といった、車のすべての動作に悪影響を及ぼします。また、知らないうちに何らかの積荷がペダル操作の妨げとなるような場所に転がり込むなどの可能性を考えると、燃費向上の面からも安全性の面からも余計なものは積まないに越したことはありません。

### ・渋滞をできるだけ避ける。

混雑した道では、加減速を繰り返す運転になってしまい、どうしても燃費が悪化してしまいます。普段から渋滞する道や時間帯はできるだけ避けましょう。ただし渋滞を回避しようとして遠回りになり過ぎないように注意して下さい。

### ・エアコンは上手に使う。

送風や暖房はほとんど燃費に影響しないので心配する必要はないのですが、冷房が燃費に影響することはみなさん聞いたことがあると思います。最も燃費に影響するのは、A/CスイッチをONにしてコンプレッサーを働かせたときです。コンプレッサーが働くとエンジンに負荷がかかり一般的に5~10馬力の損失があると言われています。すると車両側でこのパワーダウンを補う為にアイドルアップしてパワーを一定に保とうとします。アイドリング時、A/Cスイッチを押すとエンジンの回転が若干上昇するのはこのためです。また運転者も加速の鈍りを感じ、余計にアクセルを踏んでしまいます。ですから冷房は本当に必要なときだけ使いましょう。



**Ecologic!**

---

株式会社トラスト

〒289-1605 千葉県山武郡芝山町大台3155番地5 TEL.0479-77-3000

第1版 平成18年10月印刷

**TRUST CO.,LTD.**

MADE IN JAPAN

---